

提 案 書

提案名 (25字以内)	2013 みなとみらい国際邦楽フェスティバル “Composer Project”
グループ名 (25字以内)	特定非営利活動法人 日本芸術文化国際センター (ICJC)

【1】グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績を記入してください。

<p>◎地域での貢献活動：(公演タイトル、公演年・月、会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学部定期演奏会、毎年春季もしくは秋季に開催、横浜市妙香寺(2003年から継続中) ・中高等部定期演奏会、毎年春季および冬季に開催、県民共済みらいホール(2003年から継続中) ・横浜開港150周年記念式典での演奏、2009年5月、赤レンガ倉庫 ・2009年ディワリ・イン・ジャパン、2009年10月 ・みなとみらいアマチュア室内楽フェスティバル、みなとみらいホール、2010、2010年2月 ・コミュニティアウトリーチプロジェクト(地域の老人ホームや、小学校などでの演奏+ワークショップ。)シニアホテル横浜、2011年3月、横浜雙葉小学校、2012年4月他 <p>◎最近5年以内の実績：(公演タイトル、公演年・月、会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ東部演奏ツアー、ニューヨーク、ニュージャージー (アメリカ)、2008年3月 ・招聘演奏会、デンマーク大使館(東京)、2008年11月 ・招聘演奏会、国際文化会館(東京)、2009年9月 ・第29回国際音楽教育協会 ISME 国際大会にて招聘演奏、2010年7-8月(北京・中国) ・招聘演奏会、カナダ大使館(東京)、2010年12月、 ・ドイツ演奏ツアー、2011年10月、ミュンヘン、アルトエッティング、ヴェルツブルグ、2011年10月

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	
5月	和楽器のための新曲募集開始 (インターネット、雑誌)
6月	
7月	
8月	新曲募集締め切り
9月	選考開始
10月	
11月	選考結果決定 チラシ、ポスター制作。
12月	優秀曲発表 (ICJC ホームページ) 優秀曲作曲者への通知。3月のフェスティバルへ招聘依頼。
1月	チラシ、ポスター完成、配布。 ICJC 邦楽アンサンブル：優秀曲リハーサル
2月	ICJC 邦楽アンサンブル：優秀曲リハーサル PR告知。
3月	3月15日：2013 みなとみらい邦楽フェスティバル開催 (みなとみらい小ホール)

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿ってご記入ください。

- (1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所
(6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果 (8) その他、特徴やアピールする点

(1) 活動の内容

「2013 年みなとみらい邦楽フェスティバル」では、新たな取組みとして和楽器（箏）のためのオリジナル曲を国内及び海外から広く募集し、優秀作品を ICJC 邦楽アンサンブルメンバーによる演奏で発表します（優秀曲は国内部門 1 曲、海外部門 1 曲、計 2 曲選出予定）。

3 月 15 日の演奏会では、優秀曲 2 曲に加え、ICJC 邦楽アンサンブルのレパトリーから現代曲を演奏します。

新しい邦楽曲をみなとみらいから発信し、地域の観客の方と共有し、地域での音楽・文化交流のきっかけとなることを期待します。

(2) 活動の主催者及び参加者

主催：日本芸術文化国際センター（ICJC）

参加者：ICJC 邦楽アンサンブル（演奏）

ゲスト：優秀作品作曲者 2 名。開演前に作曲者による講演を行う（同時通訳付き）。

(3) 活動を実現するための方法

・和楽器（箏）のためのオリジナル曲の募集（日英二カ国語でインターネット及び作曲・音楽系出版物により募集）

・優秀曲の選考。選考委員：沢井一恵（箏曲家、沢井箏曲院副会長）、クリストファー遥盟プラスデル（尺八演奏家）、ジョセフ雅翔アマト（ICJC ディレクター）他 1 名を予定（計 4 名）

・優秀曲の通知、発表（インターネット）

・ICJC 邦楽アンサンブルによる演奏準備

・優秀曲作曲者（国内 1 名、海外 1 名）の招聘

・2013 年 3 月 15 日みなとみらい小ホールで優秀曲を演奏。開演前に作曲者による講演を行う。

(4) 時期

2013 年 3 月 15 日（金）

(5) 場所

みなとみらい小ホール（西区みなとみらい 2-3-6）

(6) 当地区で活動を行う理由

ICJC では毎年 3 月にみなとみらい地区で邦楽フェスティバルを開催していますが、国際都市でありまた歴史的建造物等も保全される同地区で、多国籍のメンバーによる ICJC の文化活動を行うことは、日本の芸術文化の国際的普及・振興という ICJC の設立目的に合致すると考えます。

(7) エリアマネジメントの効果

先進的な街づくりが行われているみなとみらい地区で日本古来の箏の音色を聴くことは、街に新たな魅力をもたらし、また、今回は国内外から新曲を募集し、優秀曲を初めて発表する機会がみなとみらい地区からという、邦楽の情報発信の意味でも大きな意義があると考えます。

(8) その他特徴やアピールする点

◎邦楽界は当然のことながら日本人が主体となっており、邦楽のための新曲も日本人作曲家によるものが大半を占めています。現在、邦楽のための新曲を募集する作曲コンクールは国内で 1 団体が行っているのみで、その情報も日本語のみで公開されており、海外へは門戸が開かれていない状況と言えます。今回の邦楽フェスティバルでの募集では、英語による情報提供を広く行い、海外から多くの楽曲応募が期待されます。

◎また、通常、邦楽曲では西洋音楽に用いる楽譜とは異なる譜面（縦譜）を使用しますが、今回の募集では楽譜での応募も可能とし、選考段階で縦譜に置き換えます。これにより、邦楽を専門とする音楽家だけではなく、広く曲を募ることが出来ると考えます。

◎優秀曲は国内と海外から各 1 曲ずつ選考の予定で、フェスティバルに優秀曲作曲者を招聘、コンサート前に作曲者による講演を予定しており、新進作曲家を横浜みなとみらいから紹介できることも大きな魅力です。国内及び海外からの受賞者と、多国籍のメンバーによる ICJC 邦楽アンサンブルの演奏により、みなとみらいで広く音楽・国際交流が展開されると期待します。